

# 令和3年度 学校経営環境分析書

白岳中学校区 校番 3 学校名 白岳中学校

## 1 学校の内外環境の分析

|      |   |  |      |   |
|------|---|--|------|---|
| 外部環境 | <p><b>O</b> (支援的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設や工場・商店街等が多く、職場体験学習や総合的な学習の時間等における実地見学に適している。</li> <li>○ 総合体育館や広公園等に近く、学校行事や部活動等に活用できる。</li> <li>○ PTAが協力的であり、学校行事等では積極的に支援していただける。</li> <li>○ 小中の交流が活発で、連携体制が整っている。</li> </ul>   | <p><b>S</b> (強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育活動に、前向きに取り組む教職員が多い。組織力は高い。</li> <li>○ 研究体制が確立されており、学校が一丸となり授業研究に取り組んでいる。</li> <li>○ 校区が1小学校1中学校であるため、連携がとりやすく、小中一貫教育の効果が期待できる。</li> <li>○ 白岳小学校に、食育を推進する栄養教諭が配置されている。</li> <li>○ 生徒数が多く、多様な個性を生かした生徒同士の交流をする機会を多くもてる。</li> </ul> | 内部環境 | <p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学力調査の重点課題に対応した改善指導。</li> <li>○ 小中一貫教育の、さらなる推進を図る。</li> <li>○ 地域の特色を取り入れ、人材の活用による「総合的な学習の時間」の充実を図る。</li> <li>○ 運動部を中心とした活動で、体力の向上を図る。</li> <li>○ 定期的な面接などの教育相談の充実。</li> </ul>  |
|      | <p><b>T</b> (阻害的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校区内には自然が少なく、理科・総合的な学習の時間等の自然を生かした体験的な活動が制限される。</li> <li>○ 生徒の転出入や外国籍児童が多く、広(白岳)を郷土としてとらえにくい傾向がある。</li> <li>○ 保護者同士のつながりや地域とのつながりが、希薄な面がある。</li> <li>○ JR広駅、国道などがあり、交通量が多く、登下校での安全安心面での阻害要因になっている。</li> <li>○ 商店街やコンビニエンスストア、ゲームセンター等校区に商業施設が多数あり、生徒指導上の課題もある。</li> </ul> | <p><b>W</b> (弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学力は向上しているが、全体的に二極化しており、基礎学力が低い生徒が見られる。</li> <li>○ 不登校傾向の生徒数が、横ばいである。</li> <li>○ 生徒指導や規律の徹底において、教職員のスタンダードに温度差が生まれやすい。</li> <li>○ 特別教室、運動場、体育館などの使用が制限される。特に体育館は、生徒数に比して狭く、全校や学年の集会がもちにくい。</li> </ul>                               |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家庭学習の定着」「学び方5」「学習観レベルアップ講座」「自律的挑戦ノート(JCノート)」による自律的学習者の育成。</li> <li>○ 主体的で深い学びを創造することにむけて、ペア・グループ活動等を効果的に取り入れることによる生徒の説明する力を向上させる。</li> <li>○ 「登下校時の挨拶」や「無言清掃」など生徒会活動の充実。</li> <li>○ 小学校と連携した生徒指導体制の確立を図る。</li> <li>○ 地域、保護者への情報発信を積極的に行い、地域、保護者の理解と協力を得る。</li> </ul> <p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p> |

## 2 重点課題

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- ② 自尊感情を高めるための学校行事・学級活動・部活動等の工夫
- ③ 働き方改革の推進
- ④ 危機管理体制の構築(防災教育・不祥事防止等)